

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【公開番号】特開2020-97631(P2020-97631A)
 【公開日】令和2年6月25日(2020.6.25)
 【年通号数】公開・登録公報2020-025
 【出願番号】特願2020-35657(P2020-35657)
 【国際特許分類】

C 0 7 D 231/14 (2006.01)
 C 0 7 D 231/16 (2006.01)
 C 0 7 D 231/38 (2006.01)
 C 0 7 D 401/12 (2006.01)
 C 0 7 D 403/12 (2006.01)
 C 0 7 D 403/14 (2006.01)
 C 0 7 D 405/12 (2006.01)
 C 0 7 D 405/14 (2006.01)
 C 0 7 D 409/12 (2006.01)
 C 0 7 D 409/14 (2006.01)
 C 0 7 D 413/12 (2006.01)
 C 0 7 D 417/12 (2006.01)
 C 0 7 D 417/14 (2006.01)
 A 6 1 K 31/415 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4155 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4184 (2006.01)
 A 6 1 K 31/42 (2006.01)
 A 6 1 K 31/422 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4439 (2006.01)
 A 6 1 K 31/454 (2006.01)
 A 6 1 K 31/496 (2006.01)
 A 6 1 K 31/506 (2006.01)
 A 6 1 K 31/5377 (2006.01)
 A 6 1 K 31/541 (2006.01)
 A 6 1 K 31/55 (2006.01)
 A 6 1 K 31/553 (2006.01)
 A 6 1 K 31/675 (2006.01)
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 0 7 F 9/6503 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 231/14 C S P
 C 0 7 D 231/16
 C 0 7 D 231/38 B
 C 0 7 D 401/12
 C 0 7 D 403/12
 C 0 7 D 403/14
 C 0 7 D 405/12
 C 0 7 D 405/14
 C 0 7 D 409/12

C 0 7 D 409/14
C 0 7 D 413/12
C 0 7 D 417/12
C 0 7 D 417/14
A 6 1 K 31/415
A 6 1 K 31/4155
A 6 1 K 31/4184
A 6 1 K 31/42
A 6 1 K 31/422
A 6 1 K 31/4439
A 6 1 K 31/454
A 6 1 K 31/496
A 6 1 K 31/506
A 6 1 K 31/5377
A 6 1 K 31/541
A 6 1 K 31/55
A 6 1 K 31/553
A 6 1 K 31/675
A 6 1 P 11/00
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 43/00 1 1 1
C 0 7 F 9/6503

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月6日(2020.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

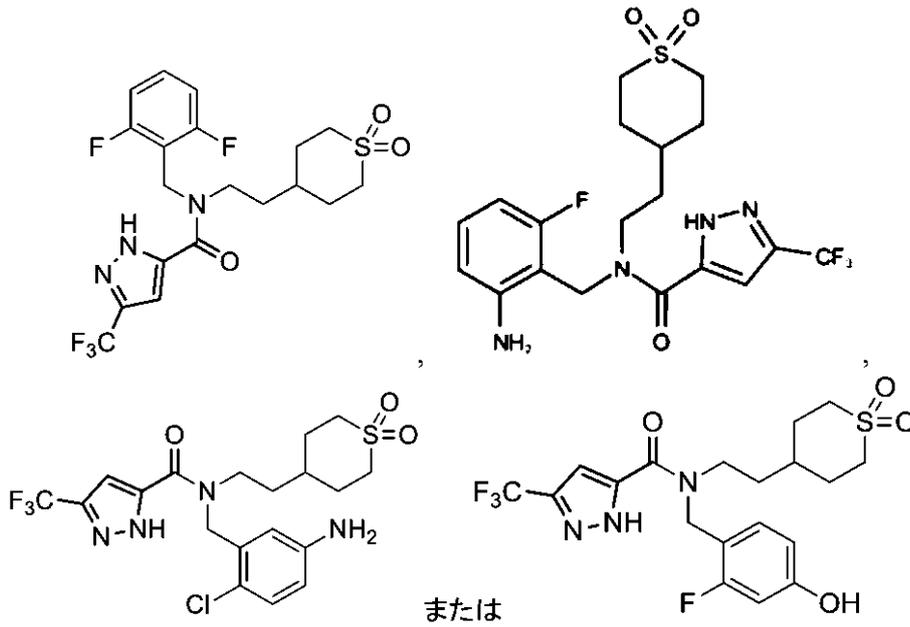
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

腫瘍形成性の低下をもたらすPKM2活性の増加を必要とする被験体において、腫瘍形成性の低下をもたらすPKM2活性を増加させるための医薬組成物であって、該医薬組成物が、PKM2活性化化合物を遊離塩基またはその薬学的に許容され得る塩、互変異性体もしくはプロドラッグの形態で含み、前記化合物が

【化 1】

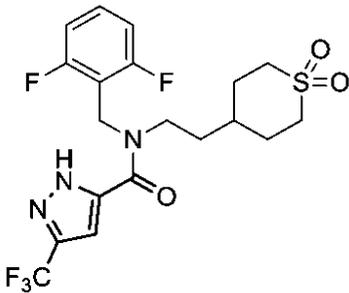


である、医薬組成物。

【請求項 2】

前記化合物が、

【化 2】

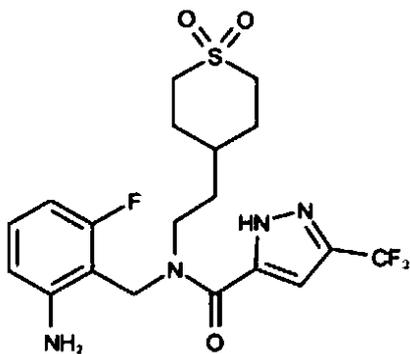


またはその薬学的に許容され得る塩、互変異性体もしくはプロドラッグである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記化合物が、

【化 3】

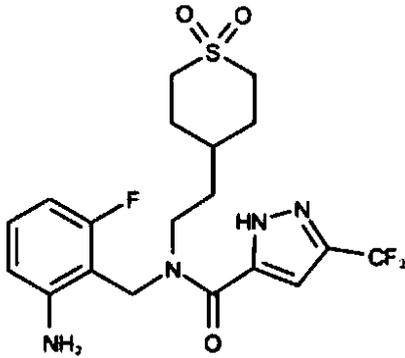


またはその薬学的に許容され得る塩、互変異性体もしくはプロドラッグである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記化合物が、

【化 4】

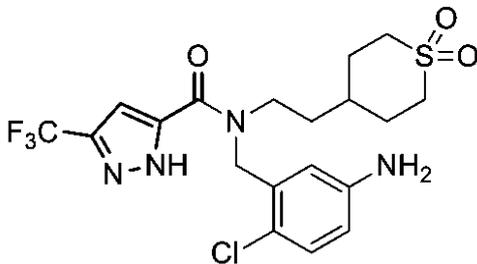


である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記化合物が、

【化 5】

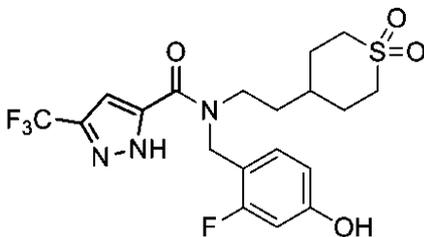


またはその薬学的に許容され得る塩、互変異性体もしくはプロドラッグである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記化合物が、

【化 6】



またはその薬学的に許容され得る塩、互変異性体もしくはプロドラッグである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記腫瘍形成性が、肺がん、膵臓がん、皮膚がん、結腸がん、乳がん、腎臓がん、卵巣がん、または血液悪性腫瘍に起因する、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物

【請求項 8】

前記医薬組成物が、1 種または複数種の化学療法剤と組み合わせて投与されることを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。